

Miaz-motte

名古屋JCがつくる広報誌 マズモッテ

Vol.1

2020.01.14

70th
ANNIVERSARY

Contents

- ・理事長 新年のご挨拶
- ・政財界 新年のご挨拶
- ・正副団 新年のご挨拶
- ・設立70周年記念式典のご案内
- ・名古屋JCの組織体系の紹介

公益社団法人名古屋青年会議所 2020年度（第70年度）スローガン

持続可能な名古屋をつくらう!!

公益社団法人名古屋青年会議所

第70代 理事長 光田 侑司

世界は、グローバル化やデジタル化の進展などダイナミックに変化しています。愛知県が、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていくためには、そうした

あけましておめでとうございます。

昨年は、全国植樹祭やラグビーワールドカップ、愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」のオープンなどを通じ、愛知のプレゼンスを一層高めるとともに、ジブリパークや愛知県新体育館の整備についても取組を進めるなど、「進化する愛知」としての大きな一歩を踏み出した年でした。

2020年 年頭所感
新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

時代の波を乗り越え、新たな付加価値を生み出していかねばなりません。

今年も、様々な国・地域等と連携し、最先端の技術・サービスを取り込みながら、自動車、航空宇宙、ロボットなどの産業集積を加速するとともに、スタートアップを起爆剤にイノベーションを創出していくことで、「国際イノベーション都市」への飛躍を目指してまいります。

また、リニア開業を見据えた社会インフラの整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも力を注ぎ、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会を実現してまいります。

今年も、愛知県で、ロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、あいち技能五輪・アビリンピック、世界ラリー選手権などが予定されています。万全の準備を整え、国内外に愛知の魅力をPRしてまいります。

こうした取組を通じ、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2020年元旦

持続可能な名古屋をつくろう
過去を追わず、未来を待たず
今必要とされていることに挑戦しよう



公益社団法人名古屋青年会議所
第70代 理事長 光田 侑司

平素は、公益社団法人名古屋青年会議所の活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

我々名古屋青年会議所は、1950年に経済発展と世界平和を実現するために先達、当事者意識と行動力をもって立ち上げた組織です。ちょうど我々の祖父母の世代であり、日本の経済発展を成し遂げるという大きな成果を残しました。そして、我々の親世代は高度経済成長期を支え、この国を世界に名を連ねる経済大国へと押し上げました。

我々がこれから経験する最大の困難は、少子化とそれに伴う超高齢化社会の到来だと考えております。このまま

の状況が続くことにはある程度予想されており、持続可能な社会をこのまま維持していくことは難しい状況に置かれております。第70年度という節目を迎え、我々はこのような大きな問題に対して、逃げることなく当事者意識をもって、我々の祖父母世代、そして親世代がしてくれたように、未来の子供たちのために、持続可能なまちを創造していかなければならないと考えます。過去の栄光に想いを馳せ懐かしむことなく、冷静に過去を検証し、目指すべき理想の姿を思い描きながら、未来に向けて積極果敢に挑戦する想いを込めて、本年度の基本理念を決めさせていただきます。

持続可能な名古屋をつくろう
過去を追わず、未来を待たず
今必要とされていることに挑戦しよう

持続可能な名古屋をつくるためには、経済・人財・国際という3つの要素であらゆるパートナーと連携し、新たな価値を創造していくことが必要だと考えております。

経済とは、世を起め民を濟うという意味の中国の古典に登場する、「経世済民」という言葉が語源となっています。つまり、経済とは本来、あらゆる関係先から大切にされ、必要とされる会社が活動を行うことで、世の中がより良くなっていくことを本質としています。近年ではこの本来の経済が意味する活動は行われていないのか。経済活動のあるべき姿を明確化し、実践する企業を数多く創出していく必要があります。

また、少子高齢化による人手不足や優秀な人財の確保は、ますます難しくなっています。単純な労働力という側面では、外国人雇用は進んでいる一方で、優秀な外国人採用はまだ進んでおりません。また、障がい者の雇用自体は少しずつ進んでいますが、労働条件等はまだまだ改善されておりません。そして、

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、令和の時代が華々しく幕開け、ナゴヤは市制施行130周年という節目を迎えました。さらに、昨年10月には、市政の新たな羅針盤となる「名古屋総合計画2023」を策定。今後に控えるアジア競技大会、リニア開業などのビッグプロジェクトに向け、フレキシブルなスタートを切ることができました。

その中で、いよいよ今年も、東京オリンピック・パラリンピック開催の年を迎えます。これは、ナゴヤの魅力を世界中の皆様

“チャレンジ&
チェンジのマチ
ナゴヤ”



名古屋市長
河村 たかし

女性の社会進出は、諸外国に比べ遅れていますが、これらの諸問題を解決し、来たるべき深刻な労働力不足や優秀な人財確保に向けて対応していく必要があります。

現在活用しきれない、人財の活用も必要ですが、これからの社会で活躍する人財を育成していくことは、まちや企業の発展にとって必要な要素だと考えております。社会には多くの情報が溢れており、その中から正しいか正しくないかを、自らの力で判断し、進むべき道を決めて行かなければなりません。そのためには、問題の背景を学び、社会課題を抽出し、それを解決するために自ら行動へと移すことができる人財を育てる必要があります。また、人生100年時代が到来すると言われております。定年を迎え引退してから余生を楽しむという従来のモデルは通用しなくなり、収入を確保しつつも、社会との関わりを継続的にもち、生きがいを感じていくことが必要となります。

人口構造の大きな変化の中で、他の国といかに関わりをもつことも重要となってきます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、多くの外国人が名古屋を訪れる契機となる年であり、まちの魅力を訪れた人が感じ、発信する好循環を継続できるかが重要となってきます。また、直接名古屋を訪れた人だけでなく、ビジネスを通してや、共通の社会課題を共有することで名古屋のまちに関わる人口を増やしていくことも重要となります。直接名古屋のまちを訪れる交流人口と、名古屋のまちに継続的に関わる関係人口、この2つの人口を増やすことで、持続可能なまち名古屋を創造してまいります。

結びとなりませんが、市民の皆様、関係諸団体の皆様、会員の皆様におかれましては、本年度も、公益社団法人名古屋青年会議所の運動への深いご理解と、多大なるご支援を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

知ってもらおう絶対のチャンスであり、この機会に足を運んでいただくためには、さらなる都市魅力の創出が是非とも必要です。そして、いま世界を惹きつける魅力を発信していかなければ、リニア大交流圏が誕生したとき、単なる通過都市へと成り果ててしまうのではないかと大変危惧しています。そうならないためには、世界中の皆様から目的地（デスティネーション）として選んでもらえるよう、文化芸術に溢れた魅力の創出に心血を注いでまいります。

その上で、田園第1号・名古屋城天守閣の大造復元は、最大のミッションであり、本物の輝きを全世界にお届けできると信じています。まずは石垣にかかる調査・検討を早期に完了すべく、一歩一歩着実に進めてまいります。

そして、子ども・親への支援については、昨年、全市立中学校への常勤カウンセラーの配置が一段落し、新たな支援の検討に着手していますが、子どもたちには「自分は何が好きなんだろう」と考えさせるエデュケーションが必要であると感じています。今年もフロントランナーとして、すべての子どもたちの笑顔のために全力を尽くしてまいります。

令和は変化の時代と言われています。ナゴヤは、時勢の流れや社会ニーズを的確に捉え、しなやかに対応できるマチへ「チャレンジ」していかなければなりません。今こそ強い決意を持って大胆に投資し、積極果敢に「チャレンジ」してまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

公益社団法人日本青年会議所 2020年度 基本理念

全ての人びとが 笑顔で生きがいを持てる国 日本の創造

新年おめでとうございます。謹んでご挨拶を申し上げます。平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に多大なるご理解・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本年度、公益社団法人名古屋青年会議所が理事長光田信司君のもと、「持続可能な名古屋をつくろう」過去を問わず、未来を待たず今必要とされていることに挑戦しよう」を合言葉に、「明るい豊かな社会を実現するため、邁進されますことを心よりご期待申し上げます。令和という時代を迎え、新たな挑戦を掲げられている貴青年会議所に、心から敬意を表するとともに万金の懸勢でご支援させていただきます。

本年度、「全ての人びとが 笑顔で生きがいを持てる国 日本の創造」を基本理念として掲げ、各地会員会議所と手を携え、運動を展開してまいります。

また、貴青年会議所におかれましては、活動地域における課題に対して、挑戦を続けるリーダーとして、社会を変える起点となる運動を展開されることを改めてご期待申し上げます。本会と致しまして、地方の課題解決に向けた政策を推し進めてまいりますので、深いご理解のもと、引続きのご支援、ご協力を賜るとともに、大いに活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに、活動地域においてすばらしい成果を出されること、先輩諸氏、現役会員の皆様にとつて実り多き一年になられることを心より祈念いたしております。

先入観を捨て、夢を描き、仲間を信じて、新しい時代を創りだそう。軌跡を紡ぎ、奇跡を起こそう。



公益社団法人日本青年会議所
第69代会頭

石田全史



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、令和2年の新春を健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。昨年、「令和」という新元号のもと新たな時代を迎えました。天皇陛下ご即位にあたり、多くの慶祝行事が滞りなく催され、誠に喜ばしく、深く記憶に刻まれる年でした。また当地では、昨年11月に「G20愛知名古屋外務大臣会合」が開催され、政府から各国外相への贈呈品として、本所の「匠土産(たくみやげ)プロジェクト」を通じて開発された「SANBOUポトルクーラー」が採用されるなど、大変嬉しいニュースもありました。

1. 当地の景況について

さて、当地経済は主力の製造業に支えられ拡大を続けてきましたが、昨今、世界経済の下振れリスクが高まり、先行きを慎重に見る企業が増えています。輸出依存度が高い企業も多く、海外経済の動向は非常に気がかりで、今後は先行き不透明と言わざるを得ません。

2020年 年頭所感

名古屋商工会議所
会頭 山本 亜土



一方、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費が緩やかな増加を続けていることから、今後、国内需要は堅調に推移していくものと期待したいと思っております。

2. 中小企業支援の強化

しかしながら、中小・小規模企業では、人手不足の問題が改善せず、事業承継や働き方改革への対応、ITの活用推進等、経営環境は依然として課題山積となっております。また、消費増税から3か月が経過しましたが、業種によっては、駆け込み需要の反動で売上げが減少し、厳しい環境が続いているところも散見されます。

申し上げるまでもなく、会議所活動の根幹は「中小企業の支援」であり、本所は約70名の経営指導員による年間約20,000件の巡回窓口相談を軸としながら、中小小規模企業に寄り添った、きめ細かな、伴走型支援を行っています。

本年は、今月から12回にわたって開催する「働き方改革」シリーズ講演会を通じて、先進企業の取組事例を紹介するほか、採用力の強化にも力を入れ、人手不足や働き方改革への対応が求められる環境を踏まえ、人材を惹きつける組織づくりへの支援に努めてまいります。

3. 「躍動し愛されるナゴヤ」実現を目指した活動の本格化

当地には、中長期的に大きな環境変化と課題があると思います。AI、ビッグデータによる「デジタル革命」がもたらす産業構造の変化や、主力の自動車産業における「百年に一度の大変革」が進展し、もしかすると、他地域での研究開発等が進むかもしれない。また、リニア開通による首都圏との一体化で当地が埋没していくリスクも、気になるところです。

こうした状況を見据え、モノづくりをしっかりと維持し、その強みをベースに、「次世代産業振興、スタートアップ・イノベーション創出」、「まちづくり、交通インフラ整備」、「観光誘客の推進」と

いう三本柱を主体として推進し、面白く、魅力的で、国内外から多くの人々に何度も訪れてもらえるよう「躍動し愛されるナゴヤ」へと発展させていくことが大変重要だと考えております。

(1) 次世代産業振興、スタートアップ・イノベーション創出

次世代産業では、航空機で部品産業のグローバル展開への支援や、今後拡大が予想されるMRRO (Maintenance, Repair & Overhaul)分野への進出支援・振興に取組んでいます。また、医療機器分野では、5月に開催される「日本臨床工学会」にあわせて「メディカルメッセ」を同時開催し、当地の医工連携の取り組みをアピールするとともに、医療関係者、メーカー、ディーラー等とのネットワーク構築を図ってまいります。

さらに、昨年10月、名駅近くにオープンした「なごのキャンパス」は、当地で成長・飛躍する企業が多く生まれるための苗床として、大切な拠点施設です。本所職員も常駐しながら、新たな出会いやビジネスチャンス創出に向け、積極的に支援いたします。

(2) まちづくり、交通インフラ整備

まちづくり、交通インフラ整備では、名駅伏見栄の都心部がそれぞれの個性を伸ばしつつ、「体で歩いて楽しいまち」となるよう、本所の呼びかけにより、まちづくり団体や地元行政等の定期的な会議体を設け、情報共有と連携方策の検討を重ねていきます。

また、リニア効果を最大化し、域内にあまねく波及させるため、中部国際空港-本目滑走路の早期整備や名古屋駅のスーパーターミナル化の推進、名古屋港、広域幹線道路の整備拡充等、行政・関係団体とも連携し、積極的に取り組んでまいります。

(3) 観光・誘客の推進

観光誘客では、2030年の我が国へのインバウンド6,000万人が目標となる中、当地商

業サービス業の発展に不可欠な要素として、インバウンド対応を強化する必要があります。今後、インバウンドの受け入れに必要な、商品サービスを提供する事業者と、飲食・小売・宿泊・サービス業等の事業者との商談会を開催するなど、二層のインバウンド拡大に注力いたします。

また、愛知県は昨年、ラグビーWCで大いに盛り上がったところですが、本年は「ワールドロボットサミット2020」、「ロボカップアジアパシフィック2020あいち」をはじめ、「世界ワーカー選手権(WRC)」など注目イベントが目白押しです。本所では、夜の賑わい創出によるナイトタイムエコノミー振興や、MICEで当地へ来られたビジネス客向けに観光コースの提案(「プレジャー」と情報発信など、観光誘客の推進にしっかりと取り組んでまいります。

幸い、地元行政等とは基本的な考え方や課題認識を共有していますので、足並みを揃え、地域一丸となって着実に、また、時に大胆に取り組んでゆきたいと思っております。

4. びすび

昨年11月から2期目に入り、副会頭以下、新しい体制がスタートしました。

本年の干支は「子」です。これは新たなサイクリの始まりで、子孫繁栄を象徴するものとも言われております。会議所活動の新たな二歩を踏み出すのに、非常に相応しいタイミングだと思っております。

これから、「躍動し愛されるナゴヤ」の実現に向け、火付け役として、あるいは、仲介役として、自ら汗をかきながら取り組み、その動きが連鎖的に広がるよう、有言実行に努めます。地域総合経済団体としての責務を果たし、企業活動や地域社会の二層の成長発展にぜひ貢献して参りたいと考えています。

会員の皆様には今後とも、会議所活動に対する「層の」理解とご支援をお願い申し上げます。新年の「挨拶とさせていただきます。



第70年度正副団 新年のご挨拶



公益社団法人名古屋青年会議所
第70年度 専務理事

齋藤 亮治

あけましておめでとうございます。2020年度（第70年度）という節目の年にあたり、運営の長として名古屋青年会議所が持続可能な形で続いていく礎を築く年となるよう務めてまいります。そして、少子高齢化により様々な問題が生じているなか、あらゆるパートナーと連携しながら持続可能なまち名古屋を創造し

ていく団体として、市民の皆様から必要とされるよう組織運営を行い、的確な運動を展開できるよう邁進してまいります。今年1年どうぞよろしくお願いたします。



公益社団法人名古屋青年会議所
第70年度 常務理事

土屋 勝義

あけましておめでとうございます。総務グループでは、会員の議論を通して構築された運動がより効果的に市民の意識変革をもたらすよう、盤石な運営基盤で組織を支えたいと思います。また、適正な予算執行並びにコンプライアンスに基づいた運動が展開できているか管理いたします。そして、持続可能な組織であり続け

るには、行政・企業等外部の理解と協力を得る必要があります。また、より効果的な運動を展開していくための調整や管理を行うことで、持続可能なまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年1年どうぞよろしくお願いたします。



公益社団法人名古屋青年会議所
第70年度 副理事長

高橋 雅大

あけましておめでとうございます。国際グループでは、国際化が進む名古屋のまちのために交流人口と関係人口を増やし、世界で活躍する人材を育成する事業を構築してまいります。そして、市民が名古屋のまちの魅力を感じ、当事者意識をもち行動へと移せる人材を育てます。また、スポーツ交流を通じた国際交流

事業や民間外交による世界経済問題を解決する事業を展開し、持続可能なまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年1年どうぞよろしくお願いたします。



公益社団法人名古屋青年会議所
第70年度 副理事長

鈴木 信輝

あけましておめでとうございます。人財グループでは、SDGsを軸にした社会課題を抽出し課題解決できる人材を育成するために、地域にインパクトを起こす若者に機会を与え活動を支援してまいります。そして、人生100年時代の到来に向けて、社会に貢献しながら稼ぐ力を身につけるために、傑出した若者を賞す

る場を創出すると共にライフステージに応じた学び直しの必要性を発信します。さらに、本年度は入会基準を厳守し、質の高い会員の拡大と育成を通じ、誰一人取り残さない一体感ある組織を形成し、持続可能なまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年1年どうぞよろしくお願いたします。



公益社団法人名古屋青年会議所
第70年度 副理事長

遠藤 圭

あけましておめでとうございます。経済グループでは、少子高齢化の到来や労働人口の減少を原因とする国内市場の収縮に対して、持続可能な発展のために必要な施策を実施いたします。その中でも、外国人採用・障がい者の賃金格差・ジェンダー平等といったテーマを取り上げ、社会のすべての人が活躍できるように

な仕組みの構築を行います。さらに、多くの会社からあゆむ関係先から大切にされる存在になるよう取り組むことで、持続可能なまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年1年どうぞよろしくお願いたします。



公益社団法人名古屋青年会議所
第70年度 副理事長

橋田 英明

あけましておめでとうございます。ブランディンググループでは、名古屋青年会議所の活動を円滑に行うために、対外統括窓口として連携や調整を図り、信頼される組織運営に務めます。そして、このまちの未来をつくる運動を広く市民の皆様にご共感いただくために、時代に即したあらゆる対外への情報発信を行います。

さらに、本年度は名古屋青年会議所の設立70周年という節目の年でもありますので、10年先を見据えた運動の展開により組織の存在感を高め、持続可能なまち名古屋の創造に邁進してまいります。今年1年どうぞよろしくお願いたします。



70th ANNIVERSARY

公益社団法人名古屋青年会議所 設立70周年記念式典

令和2年7月11日
ホテルナゴヤキャッスル



謹んで新年のお喜びを申し上げます。
平素より、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会の運動に別格のご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また貴青年会議所より多くの出向者を東海地区協議会にご輩出いただき、心より感謝申し上げます。
さて、東海地区協議会2020年度は、

東海地区協議会 2020年度 基本理念

誰もが輝き 希望溢れる 東海の創造

公益社団法人日本青年会議所
東海地区協議会
2020年度 会長 鳴海 宏樹



「希望溢れる東海へ」無限の可能性で、次代を切り拓く！をスローガンに28会員会議所、約4400名のメンバーと共に、様々な問題と向き合い、誰もが輝ける希望溢れる東海を目指し運動を展開して参ります。
まずは、組織の在り方について、全メンバーが考えられる機会を創出し、各地会員会議所のさらなる飛躍を目指し改革を実行し、青年会議所のブランディングに努めて参りたいと考えております。その中で、次代を担う人材育成にも地区協議会、ブロック協議会、会員会議所の距離間をこれまで以上に縮め、努めて参ります。そして、私たちが住み暮らす東海地方は悠久の歴史、文化、伝統が各地に散在しており、経済環境、交通インフラ網においても恵まれた地域であり、今後益々の発展に向け28会員会議所の連携を強固なものとし、東海地区に新たな価値をもたらすべく地域ビジョンを策定して参ります。また、地域の未来を輝かす人材を育成するために、5月31日からの7日間に亘り、寄港地台湾に向けて第47回JCY青年の船「とうかい号」を出航いたします。
すべての運動が次代を輝かすと信じ、今を生きるJAYCEEとして、共に時代を築いて参りましょう。

結びに、記念すべき70周年を迎えられる貴青年会議所が、光田脩司理事長の力強いリーダーシップのもと、メンバーが一丸となり、これまでの歴史を礎に、未来に先駆けた新たな挑戦が持続可能な名古屋の創造となりますことを心よりお祈り申し上げます。そして皆様のご健勝と社業のさらなる飛躍を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

愛知ブロック協議会 2020年度 スローガン

33の進華 心豊かに誰もが輝く 持続可能な愛知の創造

公益社団法人日本青年会議所
東海地区 愛知ブロック協議会
2020年度 会長 曾根 香奈子



謹んで初春のお喜びを申し上げます。
平素より、公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会の運動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本年度は、監査担当役員として寺田拓也君、SDG推進委員会委員長として

「33の進華」をスローガンに掲げています。ダイバーシティ・マネジメントを浸透させ、令和という新たな時代も愛知ブロック協議会が更なる発展をするために不可欠な組織としての持続可能性を確保した上で、率先して様々な困難に挑戦することを通じて、心豊かに輝く人材を育て、地域を活性化し、持続可能な愛知の創造へ向けた運動を展開してまいります。人は人によって磨かれ、咲き誇る華のように輝く人財へと成長します。運動を通じて、地域の課題を的確に捉え、地域経済を強く牽引する青年経済人への成長を促し、持続可能な愛知の創造の礎となる人材を育てます。

結びに、愛知ブロック協議会に対して、2020年度もこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻はもちろんのこと、倍旧のご厚意を賜りますことをお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

本年度、愛知ブロック協議会は、「33の進華」心豊かに誰もが輝く持続可能な愛知の創造」をスローガンに掲げています。ダイバーシティ・マネジメントを浸透させ、令和という新たな時代も愛知ブロック協議会が更なる発展をするために不可欠な組織としての持続可能性を確保した上で、率先して様々な困難に挑戦することを通じて、心豊かに輝く人材を育て、地域を活性化し、持続可能な愛知の創造へ向けた運動を展開してまいります。人は人によって磨かれ、咲き誇る華のように輝く人財へと成長します。運動を通じて、地域の課題を的確に捉え、地域経済を強く牽引する青年経済人への成長を促し、持続可能な愛知の創造の礎となる人材を育てます。

して高橋亮君をはじめとする多くの出向者を御輩出いただいておりますことに改めて厚く御礼申し上げます。
本年度、愛知ブロック協議会は、「33の進華」心豊かに誰もが輝く持続可能な愛知の創造」をスローガンに掲げています。ダイバーシティ・マネジメントを浸透させ、令和という新たな時代も愛知ブロック協議会が更なる発展をするために不可欠な組織としての持続可能性を確保した上で、率先して様々な困難に挑戦することを通じて、心豊かに輝く人材を育て、地域を活性化し、持続可能な愛知の創造へ向けた運動を展開してまいります。人は人によって磨かれ、咲き誇る華のように輝く人財へと成長します。運動を通じて、地域の課題を的確に捉え、地域経済を強く牽引する青年経済人への成長を促し、持続可能な愛知の創造の礎となる人材を育てます。

公益社団法人名古屋青年会議所
2020年度(第70年度)組織図

